

高知県立療育福祉センターからの研修生を受け入れました

高知県立療育福祉センターの理学療法士二名が当院に一週間（2016/2/22～26）研修に来ました。今回は、ボバースアプローチ 8 週間講習会を修了した経験年数数十年の方々の研修だったので、実践的な内容が中心となりました。ハンドリング（実技）の時間を設けて種々のアプローチを練習し、後半は実際の治療にも参加してもらいながら、ハンドリングを実際に活用して「患者さんが変わる」という成功体験を共有していきました。当院のセラピスト数名が集まったのケーススタディーでは VTR を撮り、その後ディスカッションする時間も取りました。VTR をみながら、臨床像やセラピーの目標、どういった考え方でアプローチし、どういった反応がみられたのでアプローチを修正していったのか等を整理することで、クリニカルリーズニングの力を深めてもらいました。

【研修内容】

- 月曜日：オリエンテーション、病棟見学、概論講義、外来治療見学、
クリニカルリーズニング
- 火曜日：痙直型脳性麻痺児に関する講義・ハンドリング（実技）、外来治療見学、
クリニカルリーズニング、ケーススタディー
- 水曜日：勉強会、アテトーゼ型脳性麻痺児に関する講義・ハンドリング（実技）、
外来治療見学、クリニカルリーズニング、ケーススタディー
- 木曜日：重症心身障害児者に関する講義・ハンドリング（実技）、外来治療見学、
病棟見学、クリニカルリーズニング、ケーススタディー
- 金曜日：外来治療見学、病棟見学、クリニカルリーズニング、ハンドリング（実技）
記録、まとめ

研修終了後にいただいたアンケートの一部紹介させていただきます。

- ・火曜の夕方のハンドリングの勉強会にも参加でき、自分の手の感じにくさなどを気付けたこと、職員の方の取り組みも見せていただけて良かった。
- ・講義とハンドリングを続けてセッティングされていたのでつなげて考えやすかった。ハンドリングは 3 日間、いくつものアプローチを教えていただいたので木・金曜日のセラピーに参加した時出来ないながらも触る場所を探したり考えることができた。

- 担当の方がケースについて実際にセラピーしながら状況をライブで説明していただいたのでわかりやすかった。治療に参加出来て良かった。フィードバックもしていただけよかった。
- ハンドリングについては、練習していくこと、患者さんの体を感じられる手になること、そして変化させていけることだと思っています。今回の研修は、理学療法室で日常のセラピーの全体の様子を見学することができ、セラピーの準備や 40 分の組み立て方なども非常に参考になりました。
- ケースにバリエーションがあったので、自分のケースにも応用できそうです。
- ハンドリング技術は追いついていきませんが、何ケースも見学させていただく中で先生方のアプローチを思い出しながら月曜日からのセラピーに役立てていきたくと思います。すべての先生方がセラピーの中で具体的な説明をされたこと、セラピーの途中や最後で必ず変化を出していたこと、具体的な目標をあげられたことも自分の患者様への関わりにさらに取り組んでいかなければいけないと感じました。
- 大変お忙しい業務の中で研修させていただきありがとうございました。日々の業務の様子（治療、勉強会、CS）も見せていただけて良かったです。自分自身の **body schema** も更新していけるように頑張ります。

当院が小児の包括的リハビリテーション・療育施設のモデルとして外部に発信していけるよう、今後もこういった研修生の受け入れを積極的に行っていきたいと考えています。